

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ITキャリアデザイン I			
実務家教員授業				
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	前期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	30単位時間			
授業コマ数	15コマ			
授業概要	就職活動および就職試験の対策			
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習			
達成目標	面接時の入退室および自己PRが回答できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	就職の心構え	31	
	2	自己分析（1）	32	
	3	自己分析（2）	33	
	4	自己分析（3）	34	
	5	自己分析（4）	35	
	6	自己PR作成（1）	36	
	7	自己PR作成（2）	37	
	8	自己PR作成（3）	38	
	9	自己PR作成（4）	39	
	10	効果測定 自己PR	40	
	11	筆記試験とは	41	
	12	一般常識対策（1）	42	
	13	一般常識対策（2）	43	
	14	適性試験対策（1）	44	
	15	適性試験対策（2）	45	
	16		46	
	17		47	
	18		48	
	19		49	
	20		50	
	21		51	
	22		52	
	23		53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ITキャリアデザインII			
実務家教員授業				
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	就職活動および就職試験の対策			
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習			
達成目標	面接時の自己PRおよび志望動機が十分に回答できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	面接試験とは	31	作文演習（2）
	2	面接試験における質問研究（1）	32	インターネットによるアクセス
	3	面接試験における質問研究（2）	33	電子メールによるアクセス
	4	面接試験における質問研究（3）	34	電話によるアクセス
	5	説明会・選考試験とは	35	電話応対実践（1）
	6	入退室方法の確認	36	電話応対実践（2）
	7	面接トレーニング（1）	37	電話応対実践（3）
	8	面接トレーニング（2）	38	効果測定 電話応対
	9	応募書類の準備	39	就職活動における自己管理
	10	履歴書作成（1）	40	面接トレーニング（7）
	11	履歴書作成（2）	41	面接トレーニング（8）
	12	履歴書作成（3）	42	就職活動マニュアルの確認
	13	仕事・会社選びの基礎知識	43	就職活動システムの利用方法
	14	企業研究シート作成（1）	44	面接トレーニング（9）
	15	企業研究シート作成（2）	45	面接トレーニング（10）
	16	企業研究シート作成（3）	46	
	17	志望動機作成（1）	47	
	18	志望動機作成（2）	48	
	19	志望動機作成（3）	49	
	20	面接トレーニング（3）	50	
	21	面接トレーニング（4）	51	
	22	面接試験における質問研究（4）	52	
	23	面接試験における質問研究（5）	53	
	24	面接試験における質問研究（6）	54	
	25	面接トレーニング（5）	55	
	26	面接トレーニング（6）	56	
	27	エントリーシート作成（1）	57	
	28	エントリーシート作成（2）	58	
	29	エントリーシート作成（3）	59	
	30	作文演習（1）	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	一般教養 I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	一般常識や漢字など学習		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。		
達成目標	模擬試験および検定試験で合格点を取る		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	一般常識対策（1）	31
	2	一般常識対策（2）	32
	3	一般常識対策（3）	33
	4	一般常識対策（4）	34
	5	一般常識対策（5）	35
	6	適性試験対策（1）	36
	7	適性試験対策（2）	37
	8	適性試験対策（3）	38
	9	適性試験対策（4）	39
	10	適性試験対策（5）	40
	11	漢字試験対策（1）	41
	12	漢字試験対策（2）	42
	13	漢字試験対策（3）	43
	14	漢字試験対策（4）	44
	15	効果測定 漢字	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ビジネスマナー I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	基本的なビジネスマナーについて学習する		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	社会人として必要なビジネスマナーを理解し身につける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	ガイダンス	31
	2	学校と職場の違い	32
	3	職場のマナー	33
	4	仕事の進め方	34
	5	「ほう・れん・そう」とは	35
	6	挨拶の種類	36
	7	笑顔・お辞儀	37
	8	正しい敬語の使い方	38
	9	応対の基本	39
	10	電話応対のマナー	40
	11	電話の受け方	41
	12	電話のかけ方	42
	13	状況別の電話応対	43
	14	効果測定対策	44
	15	効果測定 電話応対実技	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	IT基礎知識Ⅲ			
実務家教員授業				
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義			
授業時間	30単位時間			
授業コマ数	15コマ			
授業概要	ITパスポート試験の学習を行う			
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習			
達成目標	ITパスポート試験に出題される内容を理解する			
教科書	オリジナル教材			
特記				
授業計画	1	ストラテジ系（1）	31	
	2	ストラテジ系（2）	32	
	3	ストラテジ系（3）	33	
	4	ストラテジ系（4）	34	
	5	マネジメント系（1）	35	
	6	マネジメント系（2）	36	
	7	問題演習	37	
	8	テクノロジー系（1）	38	
	9	テクノロジー系（2）	39	
	10	テクノロジー系（3）	40	
	11	テクノロジー系（4）	41	
	12	テクノロジー系（5）	42	
	13	テクノロジー系（6）	43	
	14	テクノロジー系（7）	44	
	15	問題演習	45	
	16		46	
	17		47	
	18		48	
	19		49	
	20		50	
	21		51	
	22		52	
	23		53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	IT基礎知識IV		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択A		
授業方法	演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	ITパスポート試験の問題演習を行う		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義		
達成目標	ITパスポート試験で合格点を取得できるようになる		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	総合問題演習（1）	31
	2	総合問題演習（2）	32
	3	総合問題演習（3）	33
	4	総合問題演習（4）	34
	5	総合問題演習（5）	35
	6	総合問題演習（6）	36
	7	総合問題演習（7）	37
	8	総合問題演習（8）	38
	9	総合問題演習（9）	39
	10	総合問題演習（10）	40
	11	総合問題演習（11）	41
	12	総合問題演習（12）	42
	13	総合問題演習（1）	43
	14	総合問題演習（2）	44
	15	総合問題演習（3）	45
	16	総合問題演習（4）	46
	17	総合問題演習（5）	47
	18	総合問題演習（6）	48
	19	総合問題演習（7）	49
	20	総合問題演習（8）	50
	21	総合問題演習（9）	51
	22	総合問題演習（10）	52
	23	総合問題演習（11）	53
	24	総合問題演習（12）	54
	25	直前対策問題演習（1）	55
	26	直前対策問題演習（2）	56
	27	直前対策問題演習（3）	57
	28	直前対策問題演習（4）	58
	29	模擬試験（1）	59
	30	模擬試験（2）	60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル		内容	
授業科目	ITキャリアデザインⅢ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	採用試験に合格するための各種対策授業		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	就職活動において採用試験に合格する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	求人確認 1	31
	2	面接トレーニング 1	32
	3	業界研究 1	33
	4	業界研究 2	34
	5	業界研究 3	35
	6	求人確認 2	36
	7	面接トレーニング 2	37
	8	職種研究 1	38
	9	職種研究 2	39
	10	職種研究 3	40
	11	求人確認 3	41
	12	面接トレーニング 3	42
	13	企業研究 1	43
	14	企業研究 2	44
	15	企業研究 3	45
	16	求人確認 4	46
	17	面接トレーニング 4	47
	18	適性試験対策 1	48
	19	適性試験対策 2	49
	20	適性試験対策 3	50
	21	求人確認 5	51
	22	面接トレーニング 5	52
	23	エントリーシート対策 1	53
	24	エントリーシート対策 2	54
	25	エントリーシート対策 3	55
	26	求人確認 6	56
	27	面接トレーニング 6	57
	28	グループディスカッション対策 1	58
	29	グループディスカッション対策 2	59
	30	効果測定 面接	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル		内容	
授業科目	ITキャリアデザインⅣ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	採用試験に合格するための各種対策授業		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	就職活動において採用試験に合格する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	求人確認 1	31
	2	面接トレーニング 1	32
	3	面接トレーニング 2	33
	4	適性試験対策 1	34
	5	適性試験対策 2	35
	6	求人確認 2	36
	7	面接トレーニング 3	37
	8	面接トレーニング 4	38
	9	エントリーシート対策 1	39
	10	エントリーシート対策 2	40
	11	求人確認 3	41
	12	面接トレーニング 5	42
	13	面接トレーニング 6	43
	14	グループディスカッション対策 1	44
	15	グループディスカッション対策 2	45
	16	求人確認 4	46
	17	面接トレーニング 7	47
	18	面接トレーニング 8	48
	19	適性試験対策 3	49
	20	適性試験対策 4	50
	21	求人確認 5	51
	22	面接トレーニング 9	52
	23	面接トレーニング 10	53
	24	エントリーシート対策 3	54
	25	エントリーシート対策 4	55
	26	求人確認 6	56
	27	面接トレーニング 11	57
	28	面接トレーニング 12	58
	29	企業研究レポート作成	59
	30	効果測定 企業研究レポート	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	クラウドネイティブ開発			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	前期			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	AWS Lambdaを使用したクラウドネイティブシステムの基礎を実習する			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習			
達成目標	AWS Lambdaを通じてクラウドネイティブシステム構築の基礎を理解する			
教科書	AWS Lambda実践ガイド			
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業			
授業計画	1	Lambda で実現するサーバーレスシステム	31	メールの送信
	2	サンプル用 Lambda 関数の仕様	32	クロスオリジンの場合の注意点
	3	Lambda の利用に必要なアクセス権	33	演習（10）
	4	Lambda 関数の作成	34	演習（11）
	5	Lambda 関数の実行	35	演習（12）
	6	演習（1）	36	演習（13）
	7	演習（2）	37	SQS と SNS トピックのイベント事例
	8	演習（3）	38	DynamoDB テーブルによるメールアドレス管理
	9	イベントの発生と Lambda 関数	39	S3 バケットと SQS を構成する
	10	Lambda コンテナ	40	SQS からメッセージを取り出してメールを送信する
	11	Lambda 関数の実行	41	バウンスメールを処理する
	12	Lambda 関数を呼び出すイベントソース	42	演習（14）
	13	定期的に Lambda 関数を実行する例	43	演習（15）
	14	演習（4）	44	演習（16）
	15	演習（5）	45	第2回効果測定
	16	演習（6）	46	
	17	S3 のイベント事例	47	
	18	S3 バケットの作成	48	
	19	バケットに対するイベント	49	
	20	ライブラリ込みの Lambda 関数の作成	50	
	21	演習（7）	51	
	22	演習（8）	52	
	23	演習（9）	53	
	24	第1回効果測定	54	
	25	API Gateway のイベント事例	55	
	26	API Gateway と Lambda 関数を組み合わせる	56	
	27	API Gateway から実行される Lambda 関数を作る	57	
	28	DynamoDB の基本	58	
	29	Lambda 関数で DynamoDB にアクセスする	59	
	30	署名付き URL を発行する	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	IT基礎知識 I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	基本情報技術者 修了試験の対策を行う		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	基本情報技術者 修了試験の出題内容を理解する		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	ハードウェア (1)	31
	2	基礎理論	32
	3	ハードウェア (2)	33
	4	ソフトウェア	34
	5	アルゴリズム	35
	6	データベース	36
	7	ネットワーク	37
	8	問題演習	38
	9	セキュリティ	39
	10	システム構成要素	40
	11	マルチメディア	41
	12	システム開発	42
	13	マネジメント	43
	14	ストラテジ	44
	15	問題演習	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	IT基礎知識Ⅱ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	基本情報技術者 修了試験の問題演習を行う		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義		
達成目標	基本情報技術者 修了試験で合格点を取得できるようになる		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	項目別問題演習（1）	31
	2	項目別問題演習（2）	32
	3	項目別問題演習（3）	33
	4	項目別問題演習（4）	34
	5	項目別問題演習（5）	35
	6	項目別問題演習（6）	36
	7	項目別問題演習（7）	37
	8	項目別問題演習（8）	38
	9	項目別問題演習（9）	39
	10	項目別問題演習（10）	40
	11	項目別問題演習（11）	41
	12	項目別問題演習（12）	42
	13	総合問題演習（1）	43
	14	総合問題演習（2）	44
	15	総合問題演習（3）	45
	16	総合問題演習（4）	46
	17	総合問題演習（5）	47
	18	総合問題演習（6）	48
	19	総合問題演習（7）	49
	20	総合問題演習（8）	50
	21	総合問題演習（9）	51
	22	総合問題演習（10）	52
	23	総合問題演習（11）	53
	24	総合問題演習（12）	54
	25	直前対策問題演習（1）	55
	26	直前対策問題演習（2）	56
	27	直前対策問題演習（3）	57
	28	直前対策問題演習（4）	58
	29	直前対策問題演習（5）	59
	30	模擬試験	60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	コンピュータリテラシー		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択A		
授業方法	実習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	Officeソフト：Word、Excel、PowerPointの操作学習		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	Officeソフトの基本的な操作方法を身につける		
教科書	情報利活用 基本演習		
特記			
授業計画	1	コンピューターの基本操作	31
	2	一般的なビジネス文書の作成	32
	3	シンプルなレポートや報告書の作成	33
	4	表、画像、図形を使った文書の作成	34
	5	効果測定 文書作成	35
	6	プレゼンテーションの企画	36
	7	わかりやすいストーリー構成	37
	8	センスアップするレイアウトデザイン	38
	9	イメージを伝えるイラスト・写真活用	39
	10	効果測定 プレゼンテーション	40
	11	表作成の基本操作	41
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作	42
	13	数式・関数を活用した集計表の作成	43
	14	グラフの基本	44
	15	効果測定 表計算	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	HTML／CSS		
実務家教員授業	○		
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択A		
授業方法	実習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	HTML／CSS		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	HTML／CSSを使用してWebページの作成ができる		
教科書	いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本		
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業		
授業計画	1	Webサイト作成準備	31
	2	HTMLの基本	32
	3	HTML文書の設計	33
	4	共通ページから個別ページの作成（1）	34
	5	共通ページから個別ページの作成（2）	35
	6	CSSの基本（1）	36
	7	CSSの基本（2）	37
	8	CSSで共通部分をデザインする（1）	38
	9	CSSで共通部分をデザインする（2）	39
	10	コンテンツのデザインを整える（1）	40
	11	コンテンツのデザインを整える（2）	41
	12	スマートフォンに対応させる（1）	42
	13	スマートフォンに対応させる（2）	43
	14	Webサイトを公開する・機能追加	44
	15	効果測定 HTML/CSS	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	データベース		
実務家教員授業	○		
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択A		
授業方法	実習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	SQLの基本文法とリレーショナルデータベースの設計と実装		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	リレーショナルデータベースの設計とデータベースに対するSQLの実装ができる		
教科書	スッキリわかる SQL入門		
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業		
授業計画	1	初めてのSQL	31
	2	基本文法と4大命令	32
	3	操作する行の絞り込み(1)	33
	4	操作する行の絞り込み(2)	34
	5	検索結果の加工	35
	6	式と関数	36
	7	集計とグループ化	37
	8	副問い合わせ	38
	9	複数テーブルの問い合わせ	39
	10	トランザクション	40
	11	テーブルの作成	41
	12	さまざまな支援機能	42
	13	テーブルの設計(1)	43
	14	テーブルの設計(2)	44
	15	効果測定 データベース	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎 I
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科 2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択B-1
授業方法	講義
授業時間	60単位時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総論（基礎編） 2 収益と費用（基礎編） 3 棚卸資産（基礎編） 4 現金預金（基礎編） 5 債権・債務等（基礎編） 6 有価証券①（基礎編） 7 有価証券②（基礎編） 8 固定資産①（基礎編） 9 固定資産②（基礎編） 10 固定資産③（基礎編） 11 固定資産④（基礎編） 12 為替換算会計①（基礎編） 13 為替換算会計②（基礎編） 14 引当金（基礎編） 15 法人税等①（基礎編） 16 法人税等②（基礎編） 17 株式会社の純資産（基礎編） 18 企業結合（基礎編） 19 確認テスト（第1回） 20 株主資本等変動計算書（基礎編） 21 連結会計①（基礎編） 22 連結会計②（基礎編） 23 連結会計③（基礎編） 24 連結会計④（基礎編） 25 連結会計⑤（基礎編） 26 連結会計⑥（基礎編） 27 本支店会計（基礎編） 28 製造業を営む会社の決算処理 29 伝票と帳簿（基礎編） 30 確認テスト（第2回）

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	2級工業簿記基礎 I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択B-1		
授業方法	講義		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）	31
	2	個別原価計算の手続き（基礎編）	32
	3	材料費会計（基礎編）	33
	4	労務費会計（基礎編）	34
	5	経費会計（基礎編）	35
	6	製造間接費会計（基礎編）	36
	7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）	37
	8	単純個別原価計算Ⅰ（基礎編）	38
	9	単純個別原価計算Ⅱ（基礎編）	39
	10	工企業の財務諸表（基礎編）	40
	11	工業簿記総まとめ①（基礎編）	41
	12	部門別計算Ⅰ（基礎編）	42
	13	部門別計算Ⅱ（基礎編）	43
	14	確認テスト（第1回）	44
	15	工業簿記総まとめ②（基礎編）	45
	16	総合原価計算の手続き（基礎編）	46
	17	単純総合原価計算（基礎編）	47
	18	減損および仕損（基礎編）	48
	19	工程別総合原価計算（基礎編）	49
	20	組別総合原価計算（基礎編）	50
	21	等級別総合原価計算（基礎編）	51
	22	標準原価計算Ⅰ（基礎編）	52
	23	標準原価計算Ⅱ（基礎編）	53
	24	標準原価計算Ⅲ（基礎編）	54
	25	工業簿記総まとめ③（基礎編）	55
	26	CVP分析Ⅰ（基礎編）	56
	27	CVP分析Ⅱ（基礎編）	57
	28	直接原価計算（基礎編）	58
	29	工業簿記総まとめ④（基礎編）	59
	30	確認テスト（第2回）	60
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合 I			
実務家教員授業				
学部・学科	情報処理学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択B-1			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	総合問題演習⑧（テスト形式_基礎編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	総合問題演習⑨（テスト形式_基礎編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	総合問題演習⑩（テスト形式_基礎編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41	総合問題演習⑪（テスト形式_基礎編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42	総合問題演習⑫（テスト形式_基礎編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43	総合問題演習⑬（テスト形式_基礎編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44	総合問題演習⑭（テスト形式_基礎編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45	総合問題演習⑮（テスト形式_基礎編）
	16	工業簿記総まとめ①（基礎編）	46	
	17	工業簿記総まとめ②（基礎編）	47	
	18	工業簿記総まとめ③（基礎編）	48	
	19	工業簿記総まとめ④（基礎編）	49	
	20	工業簿記総まとめ⑤（基礎編）	50	
	21	工業簿記総まとめ⑥（基礎編）	51	
	22	工業簿記総まとめ⑦（基礎編）	52	
	23	工業簿記総まとめ⑧（基礎編）	53	
	24	工業簿記総まとめ⑨（基礎編）	54	
	25	工業簿記総まとめ⑩（基礎編）	55	
	26	工業簿記総まとめ⑪（基礎編）	56	
	27	工業簿記総まとめ⑫（基礎編）	57	
	28	工業簿記総まとめ⑬（基礎編）	58	
	29	工業簿記総まとめ⑭（基礎編）	59	
	30	工業簿記総まとめ⑮（基礎編）	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要 (シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	3級商業簿記基礎			
実務家教員授業				
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択B			
授業方法	実習			
授業時間	30単位時間			
授業コマ数	15コマ			
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習			
達成目標	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
教科書	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする			
特記	オリジナルテキスト			
授業計画	1	簿記の目的	31	仕入帳・売上帳
	2	簿記一巡	32	商品有高帳
	3	株式会社の資本	33	手形記入帳
	4	商品売買Ⅰ (商品売買、3分法、売掛金)	34	試算表の作成
	5	商品売買Ⅱ (返品、分記法)	35	伝票会計①
	6	商品売買Ⅲ (仕入諸掛・販売諸掛、前受)	36	伝票会計②
	7	決算① (繰越商品および仕入の決算整理)	37	確認テスト (第3回)
	8	決算② (決算整理後残高試算表)	38	商業簿記総まとめ②
	9	決算③ (精算表)	39	商業簿記総まとめ③
	10	現金および預金Ⅰ (現金、普通預金、当座)	40	商業簿記総まとめ④
	11	現金および預金Ⅱ (複数口座の管理、当座)	41	商業簿記総まとめ⑤
	12	手形および電子記録債権・債務	42	商業簿記総まとめ⑥
	13	確認テスト (第1回)	43	商業簿記総まとめ⑦
	14	商業簿記総まとめ①	44	商業簿記総まとめ⑧
	15	決算④ (受取手形および売掛金の決算整理)	45	商業簿記総まとめ⑨
	16	有形固定資産	46	
	17	決算⑤ (有形固定資産の決算整理)	47	
	18	その他の債権および債務Ⅰ (未収入金・未払金)	48	
	19	その他の債権および債務Ⅱ (クレジット)	49	
	20	その他の債権および債務Ⅲ (仮払金・仮払金)	50	
	21	その他の収益および費用	51	
	22	決算⑥ (費用および収益の決算整理)	52	
	23	税金	53	
	24	決算⑦ (その他の決算整理)	54	
	25	その他の勘定および訂正仕訳	55	
	26	損益計算書および貸借対照表Ⅰ	56	
	27	損益計算書および貸借対照表Ⅱ	57	
	28	確認テスト (第2回)	58	
	29	主要簿と補助簿	59	
	30	現金出納帳および当座預金出納帳	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3級簿記総合			
実務家教員授業				
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択B			
授業方法	実習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	総合問題対策①
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	総合問題対策②
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	総合問題対策③
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	総合問題対策④
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	総合問題対策⑤
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	総合問題対策⑥
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	総合問題対策⑦
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	総合問題対策⑧
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	総合問題対策⑨
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	総合問題対策⑩
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41	総合問題対策⑪
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42	総合問題対策⑫
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43	総合問題対策⑬
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44	総合問題対策⑭
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45	総合問題対策⑮
	16	商業簿記総まとめ①（応用編）	46	総合問題演習①
	17	商業簿記総まとめ②（応用編）	47	総合問題演習②
	18	商業簿記総まとめ③（応用編）	48	総合問題演習③
	19	商業簿記総まとめ④（応用編）	49	総合問題演習④
	20	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	50	総合問題演習⑤
	21	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	51	総合問題演習⑥
	22	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	52	総合問題演習⑦
	23	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	53	総合問題演習⑧
	24	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	54	総合問題演習⑨
	25	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	55	総合問題演習⑩
	26	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	56	総合問題演習⑪
	27	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	57	総合問題演習⑫
	28	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	58	総合問題演習⑬
	29	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	59	総合問題演習⑭
	30	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	60	総合問題演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	JavaScript		
実務家教員授業	○		
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択C		
授業方法	実習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	JavaScript		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	JavaScriptを使用した動的なWebページの作成ができる		
教科書	3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門		
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業		
授業計画	1	JavaScriptの基礎知識	31
	2	はじめてのプログラム（1）	32
	3	はじめてのプログラム（2）	33
	4	変数と演算について（1）	34
	5	変数と演算について（2）	35
	6	条件分岐（1）	36
	7	条件分岐（2）	37
	8	繰り返し（1）	38
	9	繰り返し（2）	39
	10	ユーザ定義関数の作成	40
	11	オブジェクトの操作（1）	41
	12	オブジェクトの操作（2）	42
	13	オブジェクトの操作（3）	43
	14	配列の基礎	44
	15	配列の操作	45
	16	効果測定 JavaScript(1)	46
	17	Webブラウザのオブジェクト（1）	47
	18	Webブラウザのオブジェクト（2）	48
	19	Webブラウザのオブジェクト（3）	49
	20	デジタル時計の作成	50
	21	イメージを操作する	51
	22	ユーザ定義オブジェクト	52
	23	DOMの操作（1）	53
	24	DOMの操作（2）	54
	25	DOMの操作（3）	55
	26	Ajax（1）	56
	27	Ajax（2）	57
	28	Ajax（3）	58
	29	Ajax（4）	59
	30	効果測定 JavaScript(2)	60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Python	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報IT学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Pythonの基本文法とプログラムの実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	CUIベースのプログラムをPythonで実装できる	
教科書	新・明解 Python入門	
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業	
授業計画	1 Pythonをはじめ	31 クラス（1）
	2 画面への表示とキーボードからの入力	32 クラス（2）
	3 制御・条件分岐（1）	33 クラス変数とクラスメソッド
	4 制御・条件分岐（2）	34 継承（1）
	5 制御・条件分岐（3）	35 継承（2）
	6 プログラムの構成要素	36 例外処理（1）
	7 制御・繰り返し（1）	37 例外処理（2）
	8 制御・繰り返し（2）	38 ファイル処理の基礎（1）
	9 制御・繰り返し（3）	39 ファイル処理の基礎（2）
	10 オブジェクトと型（1）	40 バイナリファイル
	11 オブジェクトと型（2）	41 総合演習（1）
	12 文字列の基礎	42 総合演習（2）
	13 文字列の操作	43 総合演習（3）
	14 文字列の書式化	44 総合演習（4）
	15 効果測定 Python（1）	45 効果測定 Python（3）
	16 リスト（1）	46
	17 リスト（2）	47
	18 リスト（3）	48
	19 リスト（4）	49
	20 タプル	50
	21 辞書	51
	22 集合	52
	23 関数の基礎（1）	53
	24 関数の基礎（2）	54
	25 文書化文字列とアノテーション	55
	26 名前空間とスコープ	56
	27 高階関数とラムダ式	57
	28 モジュール	58
	29 パッケージ	59
	30 効果測定 Python（2）	60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	オブジェクト指向分析設計		
実務家教員授業	○		
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択C		
授業方法	実習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析・設計の実習		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習		
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる		
教科書	システムの分析と設計 図解とUMLによるアプローチ		
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業		
授業計画	1	各種ツールの準備と・実習	31
	2	システム分析の本質	32
	3	図解技法の応用（例題と演習）	33
	4	演習（1）	34
	5	演習（2）	35
	6	システム分析・設計の手順	36
	7	UMLの基本（1）	37
	8	UMLの基本（2）	38
	9	システム分析の事例演習1-1	39
	10	システム分析の事例演習1-2	40
	11	システム分析の事例演習1-3	41
	12	システム分析の事例演習2-1	42
	13	システム分析の事例演習2-2	43
	14	システム分析の事例演習2-3	44
	15	効果測定 オブジェクト指向分析設計（1）	45
	16	システム分析の事例演習3-1	46
	17	システム分析の事例演習3-2	47
	18	システム分析の事例演習3-3	48
	19	UMLを用いたシステムの設計の基礎	49
	20	システム設計の事例演習1	50
	21	システム設計の事例演習2	51
	22	システム設計の事例演習3	52
	23	総合演習1	53
	24	総合演習2	54
	25	総合演習3	55
	26	総合演習4	56
	27	総合演習5	57
	28	総合演習6	58
	29	総合演習7	59
	30	効果測定 オブジェクト指向分析設計（2）	60
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	アジャイルソフトウェア開発		
実務家教員授業	○		
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択C		
授業方法	実習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	アジャイルの概要とアジャイルを適用したユースケース駆動設計		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	アジャイルな開発体制に適応できる		
教科書	アジャイル開発への道案内		
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業		
授業計画	1	アジャイル開発の現状と課題	31
	2	アジャイル開発の概要	32
	3	アジャイル開発の特徴	33
	4	アジャイル開発プロセス	34
	5	アジャイル開発の効果とリスク	35
	6	上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発	36
	7	アジャイル開発の事例	37
	8	まとめと演習	38
	9	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（1）	39
	10	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（2）	40
	11	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（3）	41
	12	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（4）	42
	13	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（5）	43
	14	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（6）	44
	15	効果測定 アジャイルソフトウェア開発	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	Java			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択C			
授業方法	実習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミング			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習			
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる			
教科書	新・明解Java入門、Java8問題集			
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業			
授業計画	1	はじめてのJava	31	抽象クラス（1）
	2	変数を使う	32	抽象クラス（2）
	3	制御構文・分岐（1） if文（1）	33	インタフェース（1）
	4	制御構文・分岐（2） if文（2）	34	インタフェース（1）
	5	制御構文・分岐（3） switch文 キーワード・識別子・演算子	35	演習（2）
	6	制御構文・繰り返し（1） do-while文	36	文字と文字列（1）
	7	制御構文・繰り返し（2） while文	37	文字と文字列（2）
	8	制御構文・繰り返し（3） for文	38	例外処理（1）
	9	制御構文・繰り返し（4）	39	例外処理（2）
	10	基本型と演算	40	効果測定 Java（3）
	11	配列（1）	41	総合演習 ようこそJavaの世界へ
	12	配列（2）	42	総合演習 はじめてのJavaプログラム
	13	配列（3）	43	総合演習 基本的なJavaプログラムの構造
	14	演習（1）	44	総合演習 コンピュータで扱うデータ表現
	15	効果測定 Java（1）	45	総合演習 変数／定数と型
	16	メソッド（1）	46	総合演習 演算と演算子
	17	メソッド（2）	47	総合演習 配列の宣言・生成（1）
	18	メソッド（3）	48	総合演習 配列の宣言・生成（2）
	19	クラスの基本（1）	49	総合演習 制御文（1）
	20	クラスの基本（2）	50	総合演習 制御文（2）
	21	日付クラスの作成（1）	51	総合演習 クラスとオブジェクト（1）
	22	日付クラスの作成（2）	52	総合演習 クラスとオブジェクト（2）
	23	クラス変数とクラスメソッド（1）	53	総合演習 クラスの関係を深める（1）
	24	クラス変数とクラスメソッド（2）	54	総合演習 クラスの関係を深める（2）
	25	クラス変数とクラスメソッド（3）	55	総合演習 クラスの継承（1）
	26	パッケージ	56	総合演習 クラスの継承（2）
	27	クラスの派生と多相性（1）	57	総合演習 例外処理（1）
	28	クラスの派生と多相性（1）	58	総合演習 例外処理（2）
	29	クラスの派生と多相性（1）	59	まとめ
	30	効果測定 Java（2）	60	効果測定 Java（4）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	PHP			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択D			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	PHP基本文法とサーバサイドアプリケーションの設計と実装			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習			
達成目標	サーバサイドアプリケーションをPHPで実装できる			
教科書	詳細！PHP7+MySQL入門ノート			
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業			
授業計画	1	PHPの概要と準備	31	ファイルの読み込みと書き出し（2）
	2	変数	32	ファイルの読み込みと書き出し（3）
	3	演算子	33	phpMyAdminを使う（1）
	4	制御構造・分岐文	34	phpMyAdminを使う（2）
	5	制御構造・繰り返し文	35	MySQLを操作する（1）
	6	関数（1）	36	MySQLを操作する（2）
	7	関数（2）	37	MySQLを操作する（3）
	8	文字列操作（1）	38	MySQLを操作する（4）
	9	文字列操作（2）	39	総合演習（1）
	10	文字列操作（3）	40	総合演習（2）
	11	配列（1）	41	総合演習（3）
	12	配列（2）	42	総合演習（4）
	13	配列（3）	43	総合演習（5）
	14	効果測定 PHP（1）	44	総合演習（6）
	15	オブジェクト指向プログラミング（1）	45	効果測定 PHP（3）
	16	オブジェクト指向プログラミング（2）	46	
	17	オブジェクト指向プログラミング（3）	47	
	18	オブジェクト指向プログラミング（4）	48	
	19	フォーム処理の基本（1）	49	
	20	フォーム処理の基本（2）	50	
	21	フォーム処理の基本（3）	51	
	22	各種フォームの使用（1）	52	
	23	各種フォームの使用（2）	53	
	24	各種フォームの使用（3）	54	
	25	各種フォームの使用（4）	55	
	26	セッションとクッキー（1）	56	
	27	セッションとクッキー（2）	57	
	28	セッションとクッキー（3）	58	
	29	効果測定 PHP（2）	59	
	30	ファイルの読み込みと書き出し（1）	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	フロントエンドフレームワーク			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択D			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	Vue.jsの基本文法とシングルページアプリケーションの作成			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習			
達成目標	Vue.jsを使用してシングルページアプリケーションの作成ができる			
教科書	動かして学ぶ！Vue.js開発入門			
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業			
授業計画	1	Vue.jsの概要	31	アニメーションを表示する（1）
	2	Vue.jsのインストール方法と実行	32	アニメーションを表示する（2）
	3	データを表示する	33	演習（7）
	4	属性を指定する	34	Vue.jsでToDoリストを作る（1）
	5	演習（1）	35	Vue.jsでToDoリストを作る（2）
	6	ユーザの入力をつなぐ（1）	36	演習（8）
	7	ユーザの入力をつなぐ（2）	37	部品にまとめる：コンポーネント（1）
	8	ユーザの入力をつなぐ（3）	38	部品にまとめる：コンポーネント（2）
	9	ユーザの入力をつなぐ（4）	39	部品にまとめる：コンポーネント（3）
	10	演習（2）	40	部品にまとめる：コンポーネント（4）
	11	ユーザの操作をつなぐ（1）	41	演習（9）
	12	ユーザの操作をつなぐ（2）	42	JSONデータを表示させる（1）
	13	ユーザの操作をつなぐ（3）	43	JSONデータを表示させる（2）
	14	演習（3）	44	JSONデータを表示させる（3）
	15	効果測定 フロントエンドフレームワーク（1）	45	効果測定 フロントエンドフレームワーク（3）
	16	条件と繰り返しを使う（1）	46	
	17	条件と繰り返しを使う（2）	47	
	18	条件と繰り返しを使う（3）	48	
	19	条件と繰り返しを使う（4）	49	
	20	演習（4）	50	
	21	Google Chartsと連動させる	51	
	22	データの変化を監視する（1）	52	
	23	データの変化を監視する（2）	53	
	24	演習（5）	54	
	25	データの変化を監視する（3）	55	
	26	データの変化を監視する（4）	56	
	27	演習（6）	57	
	28	Markdownエディタを作る	58	
	29	総合演習	59	
	30	効果測定 フロントエンドフレームワーク（2）	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	サーバサイドフレームワーク			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択D			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	PHPサーバサイドフレームワークLaravelを使用したサーバサイドアプリケーションの			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習			
達成目標	Laravelを使用してサーバサイドWebアプリケーションの作成ができる			
教科書	PHPフレームワーク Laravel入門			
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業			
授業計画	1	Laravelを準備する	31	Restfulサービス（4）
	2	ルーティングとコントローラ（1）	32	Restfulサービス（5）
	3	ルーティングとコントローラ（2）	33	効果測定 サーバサイドフレームワーク（2）
	4	ルーティングとコントローラ（3）	34	サーバサイドアプリ構築演習（1）
	5	演習（1）	35	サーバサイドアプリ構築演習（2）
	6	ビューとテンプレート（1）	36	サーバサイドアプリ構築演習（3）
	7	ビューとテンプレート（2）	37	サーバサイドアプリ構築演習（4）
	8	ビューとテンプレート（3）	38	サーバサイドアプリ構築演習（5）
	9	ビューとテンプレート（4）	39	サーバサイドアプリ構築演習（6）
	10	演習（2）	40	サーバサイドアプリ構築演習（7）
	11	リクエスト・レスポンスを補完する（1）	41	サーバサイドアプリ構築演習（8）
	12	リクエスト・レスポンスを補完する（2）	42	サーバサイドアプリ構築演習（9）
	13	リクエスト・レスポンスを補完する（3）	43	サーバサイドアプリ構築演習（10）
	14	リクエスト・レスポンスを補完する（4）	44	サーバサイドアプリ構築演習（11）
	15	リクエスト・レスポンスを補完する（5）	45	効果測定 サーバサイドフレームワーク（3）
	16	効果測定 サーバサイドフレームワーク（1）	46	
	17	データベースの利用（1）	47	
	18	データベースの利用（2）	48	
	19	データベースの利用（3）	49	
	20	データベースの利用（4）	50	
	21	演習（3）	51	
	22	Eloquent ORM（1）	52	
	23	Eloquent ORM（2）	53	
	24	Eloquent ORM（3）	54	
	25	Eloquent ORM（4）	55	
	26	Eloquent ORM（5）	56	
	27	演習（4）	57	
	28	Restfulサービス（1）	58	
	29	Restfulサービス（2）	59	
	30	Restfulサービス（3）	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要 (シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	C言語			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択E			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	C言語の基本文法とCUIベースプログラムの作成・ネットワークプログラミング			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習			
達成目標	OS回りおよびネットワーク関連の基本プログラムをC言語で実装できる			
教科書	基礎知識からコンピュータの本質まで C言語本格入門			
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業			
授業計画	1	イントロダクション	31	動的メモリでデータの置く場所を自ら作る (1)
	2	データを識別して保持する (1)	32	動的メモリでデータの置く場所を自ら作る (2)
	3	データを識別して保持する (2)	33	動的メモリでデータの置く場所を自ら作る (3)
	4	データを加工して保存する (1)	34	動的メモリでデータの置く場所を自ら作る (4)
	5	データを加工して保存する (2)	35	動的メモリでデータの置く場所を自ら作る (5)
	6	プログラムの流れを記述する (1)	36	データを保存して読み出す (1)
	7	プログラムの流れを記述する (2)	37	データを保存して読み出す (2)
	8	プログラムの流れを記述する (3)	38	データを保存して読み出す (3)
	9	プログラムの流れを記述する (4)	39	データを保存して読み出す (4)
	10	プログラムの流れを記述する (5)	40	避けて通れない応用 (1)
	11	プログラムを機能でまとめる (1)	41	避けて通れない応用 (2)
	12	プログラムを機能でまとめる (2)	42	避けて通れない応用 (3)
	13	プログラムを機能でまとめる (3)	43	避けて通れない応用 (4)
	14	さまざまな前処理を行う (1)	44	避けて通れない応用 (5)
	15	さまざまな前処理を行う (2)	45	効果測定 C言語 (2)
	16	データをまとめて場所を指し示す (1)	46	
	17	データをまとめて場所を指し示す (2)	47	
	18	データをまとめて場所を指し示す (3)	48	
	19	データをまとめて場所を指し示す (4)	49	
	20	データをまとめて場所を指し示す (5)	50	
	21	データをまとめて場所を指し示す (6)	51	
	22	効果測定 C言語 (1)	52	
	23	異なるデータ型をまとめる (1)	53	
	24	異なるデータ型をまとめる (2)	54	
	25	異なるデータ型をまとめる (3)	55	
	26	異なるデータ型をまとめる (4)	56	
	27	異なるデータ型をまとめる (5)	57	
	28	異なるデータ型をまとめる (6)	58	
	29	文字列を操作し使いこなす (1)	59	
	30	文字列を操作し使いこなす (2)	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	Linux		
実務家教員授業	○		
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択E		
授業方法	実習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	Linuxの概要と基本コマンド、シェルプログラミングの基本		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	Linuxの基本コマンドが使える、簡単なシェルプログラムを作成できる		
教科書	いちばんやさしいLinuxコマンド入門教室、シェルスクリプト基本リファレンス		
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業		
授業計画	1	Linux操作の基本（1）	31
	2	Linux操作の基本（2）	32
	3	ファイルを操作する（1）	33
	4	ファイルを操作する（2）	34
	5	シェルと日常作業コマンド（1）	35
	6	シェルと日常作業コマンド（2）	36
	7	テキスト処理コマンド（1）	37
	8	テキスト処理コマンド（2）	38
	9	パッケージを管理する	39
	10	ネットワークコマンド（1）	40
	11	ネットワークコマンド（2）	41
	12	システム管理コマンド（1）	42
	13	システム管理コマンド（2）	43
	14	総合演習	44
	15	効果測定 Linux（1）	45
	16	シェル・シェルスクリプト入門	46
	17	シェルスクリプトの基本事項	47
	18	シェル文法の循環構造	48
	19	複合コマンド	49
	20	組み込みコマンド（1）	50
	21	組み込みコマンド（2）	51
	22	パラメータ	52
	23	パラメータ展開	53
	24	クォートとコマンド置換	54
	25	各種展開	55
	26	リダイレクト	56
	27	よく使う外部コマンド	57
	28	配列	58
	29	シェルスクリプトのノウハウ&定石	59
	30	効果測定 Linux（2）	60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

## 授業概要 (シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	ネットワークプログラミング			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択E			
授業方法	実習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	C言語によるソケットプログラミング			
授業の進め方	情報IT学科 2年制			
達成目標	LinuxのネットワークプログラムをC言語で実装できる			
教科書	TCP/IPソケットプログラミング C言語編			
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業			
授業計画	1	ソケットの基礎：作成と破棄、アドレスの指定	31	ソケットプログラミング：演習（6）
	2	ソケットの基礎：TCPクライアント	32	ソケットプログラミング：クライアントごとにプロセスを作成
	3	ソケットの基礎：TCPサーバ	33	ソケットプログラミング：クライアントごとにスレッドを作成
	4	ソケットの基礎：演習（1）	34	ソケットプログラミング：制限付きマルチタスク
	5	ソケットの基礎：演習（2）	35	ソケットプログラミング：演習（7）
	6	ソケットの基礎：演習（3）	36	ソケットプログラミング：演習（8）
	7	メッセージの作成：データのエンコード	37	ソケットプログラミング：演習（9）
	8	メッセージの作成：バイト順	38	ソケットプログラミング：多重化
	9	メッセージの作成：整列とパディング	39	ソケットプログラミング：演習（10）
	10	メッセージの作成：フレーミングと解析	40	ソケットプログラミング：演習（11）
	11	メッセージの作成：演習（1）	41	ソケットプログラミング：演習（12）
	12	メッセージの作成：演習（2）	42	ソケットプログラミング：ブロードキャスト
	13	メッセージの作成：演習（3）	43	ソケットプログラミング：マルチキャスト
	14	UDPソケット：UDPクライアント	44	ソケットプログラミング：ブロードキャストとマルチキャストの比較
	15	UDPソケット：UDPサーバ	45	ソケットプログラミング：演習（13）
	16	UDPソケット：UDPソケットによるデータの送受信	46	ソケットプログラミング：演習（14）
	17	UDPソケット：演習（1）	47	ソケットプログラミング：演習（15）
	18	UDPソケット：演習（2）	48	効果測定 ネットワークプログラミング（2）
	19	UDPソケット：演習（3）	49	ソケットAPIの舞台裏：TCPにおけるバッファリング
	20	効果測定 ネットワークプログラミング（1）	50	ソケットAPIの舞台裏：デッドロック、パフォーマンスへの影響
	21	ソケットプログラミング：ソケットオプション	51	ソケットAPIの舞台裏：TCPソケットのライフサイクル
	22	ソケットプログラミング：シグナル	52	ソケットAPIの舞台裏：多重分離のなぞを解く
	23	ソケットプログラミング：演習（1）	53	ソケットAPIの舞台裏：演習（1）
	24	ソケットプログラミング：演習（2）	54	ソケットAPIの舞台裏：演習（2）
	25	ソケットプログラミング：演習（3）	55	ドメインネームサービス：名前とIPアドレスの対応付け
	26	ソケットプログラミング：ノンブロッキングソケット	56	ドメインネームサービス：名前によるサービス情報の検索
	27	ソケットプログラミング：非同期I/O	57	ドメインネームサービス：演習
	28	ソケットプログラミング：タイムアウト	58	総合演習（1）
	29	ソケットプログラミング：演習（4）	59	総合演習（2）
	30	ソケットプログラミング：演習（5）	60	効果測定 ネットワークプログラミング（3）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	クラウドコンピューティング			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択F			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	AWSを利用したクラウドコンピューティングの実装			
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習			
達成目標	クラウド環境で高可用性を実現するWeb開発環境の実装			
教科書	AWS Academy提供 テキスト			
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業			
授業計画	1	オンプレミス環境の構築 基礎講義	31	Auto Scaling
	2	オンプレミス環境の構築 基礎実習1	32	負荷分散とScalingの実装実習①
	3	オンプレミス環境の構築 基礎実習2	33	負荷分散とScalingの実装実習②
	4	オンプレミス環境の構築 応用講義	34	クラウドのセキュリティ
	5	オンプレミス環境の構築 応用実習1	35	IAMロールとポリシー
	6	オンプレミス環境の構築 応用実習2	36	ベストプラクティスとコンプライアンス
	7	オンプレミスとクラウドの比較	37	AWSセキュリティ実装実習①
	8	クラウドコンピューティング概要	38	AWSセキュリティ実装実習②
	9	クラウドエコノミクス	39	クラウドアーキテクチャの設計①
	10	AWSインフラストラクチャと主要なサービス	40	クラウドアーキテクチャの設計②
	11	コンピューティングサービス	41	クラウドの請求とサポートサービス
	12	Amazon EC2 コンピューティング実習	42	総合実習①
	13	ストレージサービス:EBS	43	総合実習②
	14	EBS ストレージ構築・活用実習	44	総合実習③
	15	ストレージサービス:Amazon S3	45	効果測定2
	16	Amazon S3 ストレージ構築・活用実習	46	
	17	ストレージサービス: EFS・Glacier概要	47	
	18	AWS VPC概要	48	
	19	AWS セキュリティグループ	49	
	20	VPC+Webサーバ構築実習	50	
	21	AWS Cloud Front概要	51	
	22	Amazon RDS	52	
	23	RDS環境構築実習	53	
	24	Amazon DynamoDB	54	
	25	DynamoDB環境構築実習	55	
	26	Redshift/Aurora 概要	56	
	27	高可用性DB 構築実習①	57	
	28	高可用性DB 構築実習②	58	
	29	Elastic Load Balancing (ELB)	59	
	30	Amazon CloudWatch	60	
	成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考				

## 授業概要 (シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	AI基礎プログラミング			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択F			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	Pythonにより最低限のライブラリで実装するAIシステムの実装			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習			
達成目標	深層学習システムに必須な基本的技術の実装に対応できる			
教科書	PythonによるAIプログラミング入門			
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業			
授業計画	1	人工知能の概要	31	音声認識 (2)
	2	教師あり学習を用いた分類と回帰 (1)	32	音声認識 (3)
	3	教師あり学習を用いた分類と回帰 (2)	33	物体検出と追跡 (1)
	4	教師あり学習を用いた分類と回帰 (3)	34	物体検出と追跡 (2)
	5	アンサンブル学習を用いた予測分析 (1)	35	物体検出と追跡 (3)
	6	アンサンブル学習を用いた予測分析 (2)	36	人工ニューラルネットワーク (1)
	7	教師なし学習を用いたパターン検出 (1)	37	人工ニューラルネットワーク (2)
	8	教師なし学習を用いたパターン検出 (2)	38	人工ニューラルネットワーク (3)
	9	教師なし学習を用いたパターン検出 (3)	39	強化学習 (1)
	10	推薦エンジンを作る (1)	40	強化学習 (2)
	11	推薦エンジンを作る (2)	41	強化学習 (3)
	12	論理プログラミング (1)	42	畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング (1)
	13	論理プログラミング (2)	43	畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング (2)
	14	ヒューリスティック探索 (1)	44	畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング (3)
	15	ヒューリスティック探索 (2)	45	第2回効果測定
	16	ヒューリスティック探索 (3)	46	
	17	遺伝的アルゴリズム (1)	47	
	18	遺伝的アルゴリズム (2)	48	
	19	遺伝的アルゴリズム (3)	49	
	20	人工知能を使ったゲーム (1)	50	
	21	人工知能を使ったゲーム (2)	51	
	22	人工知能を使ったゲーム (3)	52	
	23	第1回効果測定	53	
	24	自然言語処理 (1)	54	
	25	自然言語処理 (2)	55	
	26	自然言語処理 (3)	56	
	27	連続データの確率的推論 (1)	57	
	28	連続データの確率的推論 (2)	58	
	29	連続データの確率的推論 (3)	59	
	30	音声認識 (1)	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル		内容	
授業科目	IoTシステム基礎		
実務家教員授業	○		
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択F		
授業方法	実習		
授業時間	90単位時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	IoTの仕組みを学び、PythonおよびIoT関連ライブラリを使用してIoTの基礎的実装を実習する		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	IoTの仕組みの理解、IoT関連ライブラリを使用したIoTシステム実装の理解		
教科書	Pythonで動かして学ぶ！あたらしいIoTの教科書		
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業		
授業計画	1	IoTの概要	31 演習（14）
	2	IoTの仕組み	32 演習（15）
	3	Raspberry Piのセットアップ	33 IoTとAI（1）
	4	Raspberry Piの初期化	34 IoTとAI（2）
	5	Raspberry Piにリモートアクセスする（1）	35 IoTとAI（3）
	6	Raspberry Piにリモートアクセスする（2）	36 IoTとAI（4）
	7	Raspberry Piを使ってLEDを点滅させる（1）	37 演習（16）
	8	Raspberry Piを使ってLEDを点滅させる（2）	38 演習（17）
	9	演習（1）	39 演習（18）
	10	演習（2）	40 IoTとセキュリティ（1）
	11	演習（3）	41 IoTとセキュリティ（2）
	12	センサーによるデータの取得（1）	42 演習（19）
	13	センサーによるデータの取得（2）	43 演習（20）
	14	演習（4）	44 演習（21）
	15	演習（5）	45 第2回効果測定
	16	演習（6）	46
	17	クラウドストレージにデータを保存する（1）	47
	18	クラウドストレージにデータを保存する（2）	48
	19	演習（7）	49
	20	演習（8）	50
	21	演習（9）	51
	22	第1回効果測定	52
	23	IoTとデータの可視化（1）	53
	24	IoTとデータの可視化（2）	54
	25	演習（10）	55
	26	演習（11）	56
	27	演習（12）	57
	28	IoTとアクチュエーターの遠隔操作（1）	58
	29	IoTとアクチュエーターの遠隔操作（2）	59
	30	演習（13）	60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	ネットワーク・サーバセキュリティ運用			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択G			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	サイバーセキュリティの基礎を習得し、ネットワーク設計に活用できる			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習			
達成目標	サーバ構築、ネットワーク構築実習がおこなえる			
教科書	セキュリティ技術の教科書、情報セキュリティマネジメント試験によく出る問題集			
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業			
授業計画	1	情報セキュリティとサイバーセキュリティ	31	情報セキュリティマネジメント問題回答 (7)
	2	インターネット技術の基礎(1)	32	情報セキュリティマネジメント問題回答 (8)
	3	インターネット技術の基礎(2)	33	情報セキュリティマネジメント問題回答 (9)
	4	セキュリティに対する脅威(1)	34	情報セキュリティマネジメント問題回答 (10)
	5	セキュリティに対する脅威(2)	35	情報セキュリティマネジメント問題回答 (11)
	6	暗号技術・認証技術・PKI(1)	36	情報セキュリティマネジメント問題回答 (12)
	7	暗号技術・認証技術・PKI(2)	37	情報セキュリティマネジメント問題回答 (13)
	8	通信の制御とサーバー攻撃対策技術(1)	38	情報セキュリティマネジメント問題回答 (14)
	9	通信の制御とサーバー攻撃対策技術(2)	39	情報セキュリティマネジメント問題回答 (15)
	10	Webシステムのセキュリティ(1)	40	情報セキュリティマネジメント問題回答 (16)
	11	Webシステムのセキュリティ(2)	41	情報セキュリティマネジメント問題回答 (17)
	12	メールシステムのセキュリティ(1)	42	情報セキュリティマネジメント問題回答 (18)
	13	メールシステムのセキュリティ(2)	43	情報セキュリティマネジメント問題回答 (19)
	14	DNSシステムのセキュリティ	44	情報セキュリティマネジメント問題回答 (20)
	15	セキュアプロトコル(1)	45	効果測定
	16	セキュアプロトコル(2)	46	
	17	セキュアプロトコル(3)	47	
	18	セキュアプロトコル(4)	48	
	19	システムセキュリティ(1)	49	
	20	システムセキュリティ(2)	50	
	21	情報セキュリティマネジメント(1)	51	
	22	情報セキュリティマネジメント(2)	52	
	23	情報セキュリティマネジメント(3)	53	
	24	効果測定	54	
	25	情報セキュリティマネジメント問題回答 (1)	55	
	26	情報セキュリティマネジメント問題回答 (2)	56	
	27	情報セキュリティマネジメント問題回答 (3)	57	
	28	情報セキュリティマネジメント問題回答 (4)	58	
	29	情報セキュリティマネジメント問題回答 (5)	59	
	30	情報セキュリティマネジメント問題回答 (6)	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ネットワーク構築			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択G			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	ネットワーク設計に必要な知識を習得する			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習			
達成目標	高可用ネットワークの設計ができる			
教科書	ネットワーク技術&設計入門、パケットキャプチャの教科書			
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業			
授業計画	1	ネットワーク構築の流れ	31	パケットキャプチャの流れ
	2	物理設計（1）	32	Wiresharkの使い方（1）
	3	物理設計（2）	33	Wiresharkの使い方（2）
	4	物理設計（3）	34	レイヤー2プロトコル（1）
	5	物理設計（4）	35	レイヤー2プロトコル（2）
	6	物理設計（5）	36	レイヤー3プロトコル（1）
	7	物理設計（6）	37	レイヤー3プロトコル（2）
	8	論理設計（1）	38	レイヤー3プロトコル（3）
	9	論理設計（2）	39	レイヤー4プロトコル（1）
	10	論理設計（3）	40	レイヤー4プロトコル（2）
	11	論理設計（3）	41	アプリケーションプロトコル（1）
	12	論理設計（4）	42	アプリケーションプロトコル（2）
	13	論理設計（5）	43	アプリケーションプロトコル（3）
	14	論理設計（6）	44	総合演習
	15	第1回 効果測定	45	効果測定
	16	セキュリティ設計・負荷分散設計（1）	46	
	17	セキュリティ設計・負荷分散設計（2）	47	
	18	セキュリティ設計・負荷分散設計（3）	48	
	19	セキュリティ設計・負荷分散設計（4）	49	
	20	セキュリティ設計・負荷分散設計（5）	50	
	21	セキュリティ設計・負荷分散設計（6）	51	
	22	セキュリティ設計・負荷分散設計（7）	52	
	23	高可用性設計（1）	53	
	24	高可用性設計（1）	54	
	25	高可用性設計（1）	55	
	26	高可用性設計（1）	56	
	27	管理設計（1）	57	
	28	管理設計（1）	58	
	29	管理設計（1）	59	
	30	第2回 効果測定	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	サーバ構築			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択G			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	サーバの構築およびサービスプログラムの構築を実習し習得			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習			
達成目標	サーバ稼働サービスを理解し、構築できる			
教科書	28日で即戦力！サーバ技術者養成講座			
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業			
授業計画	1	サーバー環境の基礎（1）	31	データベースサーバ
	2	サーバー環境の基礎（2）	32	セキュリティ強化と応用
	3	利用技術の基礎-Windows	33	セキュリティ強化と応用(メールサーバ)
	4	利用技術の基礎-UNIX/Linux（1）	34	セキュリティ強化と応用(WWWサーバ)
	5	利用技術の基礎-UNIX/Linux（2）（1）	35	SSHトンネル・ゲートウェイ
	6	利用技術の基礎-UNIX/Linux（2）（2）	36	仮想化（1）
	7	サーバ導入技術の習得（1）	37	仮想化（2）
	8	サーバ導入技術の習得（2）	38	他のサーバOS
	9	サーバアプリケーションの仕組みと構築（1）	39	運用管理技術
	10	サーバアプリケーションの仕組みと構築（2）	40	ドメイン導入の手続き
	11	サーバアプリケーションの仕組みと構築（3）	41	演習（1）
	12	メールサーバ（1）	42	演習（2）
	13	メールサーバ（2）	43	演習（3）
	14	メールサーバ（3）	44	復習
	15	ホームページサーバ（1）	45	第2回 効果測定
	16	ホームページサーバ（2）	46	
	17	sambaとスーパーサーバ（1）	47	
	18	sambaとスーパーサーバ（2）	48	
	19	セキュリティ・システムの仕組みと構築	49	
	20	SSL（1）	50	
	21	SSL（2）	51	
	22	SSHトンネル	52	
	23	ファイアウォール（1）	53	
	24	ファイアウォール（2）	54	
	25	SSHバージョン2	55	
	26	復習	56	
	27	第1回効果測定	57	
	28	IPsec	58	
	29	自動侵入検出システム（1）	59	
	30	自動侵入検出システム（2）	60	
	成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究開発 I	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報IT学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択H	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	システム開発における企画立案、ユースケース図の作成	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	企画立案をおこない、ユースケース図を完成させる	
教科書	履修済科目で使用した教科書複数	
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業	
授業計画	1 卒業研究とは	31 ユースケースモデリング分析 7
	2 業界研究 1	32 ユースケースモデリング分析 8
	3 業界研究 2	33 ユースケースモデリング分析 9
	4 業界研究 3	34 ユースケースモデリング分析 10
	5 企画立案 1	35 ユースケースモデリング分析 11
	6 企画立案 2	36 ユースケースモデリング分析 12
	7 企画立案 3	37 ユースケースモデリング分析 13
	8 企画立案 4	38 ユースケースモデリング分析 14
	9 企画立案 5	39 要求レビューの理論
	10 企画立案 6	40 要求レビューの実践
	11 企画書の作成 1	41 要求レビュー 1
	12 企画書の作成 2	42 要求レビュー 2
	13 企画書の作成 3	43 要求レビュー 3
	14 企画書の作成 4	44 要求レビュー 4
	15 中間発表準備 1	45 要求レビュー 5
	16 中間発表準備 2	46
	17 中間発表準備 3	47
	18 中間発表 1	48
	19 ドメインモデリングの理論	49
	20 ドメインモデリングの実践	50
	21 ドメインモデリング分析 1	51
	22 ドメインモデリング分析 2	52
	23 ユースケースモデリングの理論	53
	24 ユースケースモデリングの実践	54
	25 ユースケースモデリング分析 1	55
	26 ユースケースモデリング分析 2	56
	27 ユースケースモデリング分析 3	57
	28 ユースケースモデリング分析 4	58
	29 ユースケースモデリング分析 5	59
	30 ユースケースモデリング分析 6	60
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要 (シラバス)

タイトル		内容	
授業科目	卒業研究開発Ⅱ		
実務家教員授業	○		
学部・学科	情報IT学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択H		
授業方法	実習		
授業時間	90単位時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	システム開発におけるロバストネス図の作成、シーケンス図の作成		
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得		
達成目標	ロバストネス図の完成		
教科書	履修済科目で使用した教科書複数		
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業		
授業計画	1	中間発表準備 1	31 シーケンス図作成 2
	2	中間発表準備 2	32 シーケンス図作成 3
	3	中間発表準備 3	33 シーケンス図作成 4
	4	中間発表準備 4	34 シーケンス図作成 5
	5	中間発表	35 シーケンス図作成 6
	6	ロバストネス分析の理論	36 シーケンス図作成 7
	7	ロバストネス分析の実践	37 シーケンス図作成 8
	8	ロバストネス分析 1	38 シーケンス図作成 9
	9	ロバストネス分析 2	39 シーケンス図作成 10
	10	ロバストネス分析 3	40 シーケンス図作成 11
	11	ロバストネス分析 4	41 シーケンス図作成 12
	12	ロバストネス分析 5	42 シーケンス図作成 13
	13	ロバストネス分析 6	43 シーケンス図作成 14
	14	ロバストネス分析 7	44 シーケンス図作成 15
	15	ロバストネス分析 8	45 シーケンス図作成 16
	16	予備設計レビューの理論	46
	17	予備設計レビューの実践	47
	18	予備設計レビュー 1	48
	19	予備設計レビュー 2	49
	20	予備設計レビュー 3	50
	21	予備設計レビュー 4	51
	22	予備設計レビュー 5	52
	23	予備設計レビュー 6	53
	24	予備設計レビュー 7	54
	25	予備設計レビュー 8	55
	26	テクニカルアーキテクチャの理論	56
	27	テクニカルアーキテクチャの実践	57
	28	シーケンス図作成の理論	58
	29	シーケンス図作成の実践	59
	30	シーケンス図作成 1	60
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評		
備考			

授業概要 (シラバス)

タイトル		内容		
授業科目	卒業研究開発Ⅲ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択H			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	システム開発におけるシーケンス図の作成、ソースコードの作成			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	シーケンス図の作成			
教科書	履修済科目で使用した教科書複数			
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業			
授業計画	1	シーケンス図作成 1	31	プログラミング(開発) 1
	2	シーケンス図作成 2	32	プログラミング(開発) 2
	3	シーケンス図作成 3	33	プログラミング(開発) 3
	4	シーケンス図作成 4	34	プログラミング(開発) 4
	5	シーケンス図作成 5	35	プログラミング(開発) 5
	6	シーケンス図作成 6	36	プログラミング(開発) 6
	7	シーケンス図作成 7	37	プログラミング(開発) 7
	8	シーケンス図作成 8	38	プログラミング(開発) 8
	9	シーケンス図作成 9	39	プログラミング(開発) 9
	10	シーケンス図作成 10	40	プログラミング(開発) 10
	11	シーケンス図作成 11	41	プログラミング(開発) 11
	12	シーケンス図作成 12	42	プログラミング(開発) 12
	13	シーケンス図作成 13	43	プログラミング(開発) 13
	14	シーケンス図作成 14	44	プログラミング(開発) 14
	15	シーケンス図作成 15	45	プログラミング(開発) 15
	16	シーケンス図作成 16	46	
	17	詳細設計レビューの理論	47	
	18	詳細設計レビューの実践	48	
	19	詳細設計レビュー 1	49	
	20	詳細設計レビュー 2	50	
	21	詳細設計レビュー 3	51	
	22	詳細設計レビュー 4	52	
	23	詳細設計レビュー 5	53	
	24	詳細設計レビュー 6	54	
	25	詳細設計レビュー 7	55	
	26	詳細設計レビュー 8	56	
	27	詳細設計レビュー 9	57	
	28	詳細設計レビュー 10	58	
	29	詳細設計からコードへ	59	
	30	実装の実践	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評			
備考				

授業概要 (シラバス)

タイトル		内容		
授業科目	卒業研究開発Ⅳ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択H			
授業方法	実習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	システム開発におけるソースコードの作成			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	ソースコードの作成 (最終目標の50%)			
教科書	履修済科目で使用した教科書複数			
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業			
授業計画	1	プログラミング(開発) 1	31	プログラミング(開発) 3 1
	2	プログラミング(開発) 2	32	プログラミング(開発) 3 2
	3	プログラミング(開発) 3	33	プログラミング(開発) 3 3
	4	プログラミング(開発) 4	34	プログラミング(開発) 3 4
	5	プログラミング(開発) 5	35	プログラミング(開発) 3 5
	6	プログラミング(開発) 6	36	プログラミング(開発) 3 6
	7	プログラミング(開発) 7	37	プログラミング(開発) 3 7
	8	プログラミング(開発) 8	38	プログラミング(開発) 3 8
	9	プログラミング(開発) 9	39	プログラミング(開発) 3 9
	10	プログラミング(開発) 1 0	40	プログラミング(開発) 4 0
	11	プログラミング(開発) 1 1	41	プログラミング(開発) 4 1
	12	プログラミング(開発) 1 2	42	プログラミング(開発) 4 2
	13	プログラミング(開発) 1 3	43	プログラミング(開発) 4 3
	14	プログラミング(開発) 1 4	44	プログラミング(開発) 4 4
	15	プログラミング(開発) 1 5	45	プログラミング(開発) 4 5
	16	プログラミング(開発) 1 6	46	プログラミング(開発) 4 6
	17	プログラミング(開発) 1 7	47	プログラミング(開発) 4 7
	18	プログラミング(開発) 1 8	48	プログラミング(開発) 4 8
	19	プログラミング(開発) 1 9	49	プログラミング(開発) 4 9
	20	プログラミング(開発) 2 0	50	プログラミング(開発) 5 0
	21	プログラミング(開発) 2 1	51	プログラミング(開発) 5 1
	22	プログラミング(開発) 2 2	52	プログラミング(開発) 5 2
	23	プログラミング(開発) 2 3	53	プログラミング(開発) 5 3
	24	プログラミング(開発) 2 4	54	プログラミング(開発) 5 4
	25	プログラミング(開発) 2 5	55	プログラミング(開発) 5 5
	26	プログラミング(開発) 2 6	56	プログラミング(開発) 5 6
	27	プログラミング(開発) 2 7	57	プログラミング(開発) 5 7
	28	プログラミング(開発) 2 8	58	プログラミング(開発) 5 8
	29	プログラミング(開発) 2 9	59	プログラミング(開発) 5 9
	30	プログラミング(開発) 3 0	60	プログラミング(開発) 6 0
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評			
備考				

授業概要 (シラバス)

タイトル		内容		
授業科目	卒業研究開発V			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報IT学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択H			
授業方法	実習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	システム開発におけるソースコードの作成、テストの実践			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	ソースコードの完成、テストの実践			
教科書	履修済科目で使用した教科書複数			
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業			
授業計画	1	卒業研究発表会準備 1	31	テストの実践 4
	2	卒業研究発表会準備 2	32	テストの実践 5
	3	卒業研究発表会準備 3	33	テストの実践 6
	4	卒業研究発表会準備 4	34	テストの実践 7
	5	卒業研究発表会	35	テストの実践 8
	6	プログラミング(開発) 1	36	テストの実践 9
	7	プログラミング(開発) 2	37	テストの実践 10
	8	プログラミング(開発) 3	38	テストの実践 11
	9	プログラミング(開発) 4	39	テストの実践 12
	10	プログラミング(開発) 5	40	テストの実践 13
	11	プログラミング(開発) 6	41	テストの実践 14
	12	プログラミング(開発) 7	42	テストの実践 15
	13	プログラミング(開発) 8	43	テストの実践 16
	14	プログラミング(開発) 9	44	プログラミングコンテスト準備 1
	15	プログラミング(開発) 10	45	プログラミングコンテスト準備 2
	16	プログラミング(開発) 11	46	プログラミングコンテスト準備 3
	17	プログラミング(開発) 12	47	プログラミングコンテスト準備 4
	18	プログラミング(開発) 13	48	プログラミングコンテスト準備 5
	19	プログラミング(開発) 14	49	プログラミングコンテスト準備 6
	20	プログラミング(開発) 15	50	プログラミングコンテスト準備 7
	21	プログラミング(開発) 16	51	プログラミングコンテスト準備 8
	22	プログラミング(開発) 17	52	プログラミングコンテスト 1
	23	プログラミング(開発) 18	53	プログラミングコンテスト 2
	24	プログラミング(開発) 19	54	プログラミングコンテスト 3
	25	プログラミング(開発) 20	55	プログラミングコンテスト 4
	26	設計駆動テストの理論	56	プログラミングコンテスト 5
	27	設計駆動テストの実践	57	プログラミングコンテスト 6
	28	テストの実施 1	58	プログラミングコンテスト 7
	29	テストの実施 2	59	プログラミングコンテスト 8
	30	テストの実施 3	60	卒業研究振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的 I 数的推理
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 方程式・不等式（方程式）</li> <li>2 方程式・不等式（不定式、過不足算）</li> <li>3 整数・計算パズル（約数と倍数、割り算の余り、整数の性質）</li> <li>4 整数・計算パズル（数列、n進法、その他、整数に関する問題）</li> <li>5 割合と比（割合、比）</li> <li>6 割合と比（売買算）</li> <li>7 割合と比（濃度）</li> <li>8 割合と比（濃度）、速さ（速さ）</li> <li>9 速さ（旅人算）</li> <li>10 速さ（通過算、流水算）</li> <li>11 速さ（時計算）、仕事算（仕事算、給排水算）</li> <li>12 仕事算（仕事算、給排水算、ニュートン算）</li> <li>13 その他文章題（年齢算、平均算）</li> <li>14 場合の数（場合の数、順列、重複組合せ、円順列）</li> <li>15 確率（事象と確率、赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値）</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	上記のほか、基礎数学と方程式の予備講義1コマを実施

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅱ 判断推理
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論理（対偶と三段論法、ド・モルガンの法則、論理と集合） 2 集合の要素（ベン図、キャロル表、交わりの最小値） 3 順序（順序の確定、順序の変動） 4 順序（順序の数値条件、時計のずれ） 5 位置・方位（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて） 6 位置・方位（円卓・議長席・道をへだてて、方位・作図） 7 対応（対応関係、スケジュール表、対応の数値条件、やりとり） 8 勝敗（リーグ戦、トーナメント戦）・うそつき 9 暗号、推理・手順（他人の判断から判断する） 10 推理・手順（カードゲーム、石取りゲーム、てんびん、手順）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践数的Ⅲ 空間把握・資料解釈	
実務家教員		
学部・学科	情報IT学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択I	
授業方法	講義	
授業時間	24時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読み解く力を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡）、道順・一筆書き・位相
	2	平面構成（折り紙）、平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成）
	3	正多面体（正多面体、展開図）、立体構成（サイコロ）
	4	立体構成（積木の問題、投影図、立体の切断）
	5	立体構成（回転体）、平面図形の計量（角度）
	6	平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理）
	7	平面図形の計量（相似比、面積比）
	8	平面図形の計量（面積比、円）
	9	平面図形の計量（扇形と移動図形）、立体図形の計量
	10	立体図形の計量
	11	資料解釈（実数、割合・指数・前年比）
	12	資料解釈（増加率、いろいろな資料）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学 I 政治
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、国家論 2 政治制度論 3 基本的人権総論、包括的基本権 4 自由権 5 社会権 6 国会の機構と運営 7 内閣の機構と運営 8 裁判所の機構と運営 9 地方自治 10 選挙制度
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅱ 経済
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	講義
授業時間	24時間
授業コマ数	12コマ
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と本試験レベルの実践的知識までを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済社会の変容、現代の企業</li> <li>2 現代の市場</li> <li>3 国民所得</li> <li>4 経済成長と景気循環</li> <li>5 通貨制度と金融政策</li> <li>6 財政制度と財政政策</li> <li>7 貿易と外国為替</li> <li>8 日本経済の動向</li> <li>9 国際経済の動向</li> <li>10 社会理論、労働問題</li> <li>11 社会保障、環境問題</li> <li>12 国際関係、現代の諸相</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学 I 地理
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 世界の地形 2 世界の気候 3 世界の農業 4 世界の資源 5 世界の工業 6 地図の特色と利用 7 生活と地域 8 日本地誌 9 世界地誌（アジア、アフリカ） 10 世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ⅱ 歴史
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大和政権と大化の改新</li> <li>2 平安時代</li> <li>3 鎌倉時代</li> <li>4 室町時代</li> <li>5 封建社会の確立</li> <li>6 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革）</li> <li>7 江戸時代（幕末）、明治維新</li> <li>8 立憲体制の確立</li> <li>9 近代文化の発展</li> <li>10 大正、昭和</li> <li>11 中国史1（殷～漢）</li> <li>12 中国史2（魏晋南北朝～隋、唐）</li> <li>13 中国史3（宋、元）</li> <li>14 中国史4（明、清）</li> <li>15 中国史5（清の崩壊、中華民国）</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践言語 I 文理・国語
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	講義
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 要旨把握、四字熟語 2 要旨把握、四字熟語 3 内容合致、ことわざ 4 内容合致、ことわざ 5 文章整除、文法基礎 6 文章整除、文法基礎 7 文章の穴埋め、敬語 8 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習 I 数的処理
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	演習
授業時間	24時間
授業コマ数	12コマ
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 数的推理総合演習 2 数的推理総合演習 3 数的推理総合演習 4 科目試験 1 5 判断推理総合演習 6 判断推理総合演習 7 判断推理総合演習 8 科目試験 2 9 図形・資料解釈総合演習 10 図形・資料解釈総合演習 11 図形・資料解釈総合演習 12 科目試験 3
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅱ 社会科学
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	演習
授業時間	28時間
授業コマ数	14コマ
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権 3 国会の機構と運営 4 内閣の機構と運営 5 裁判所の機構と運営 6 地方自治、選挙制度 7 科目試験1 8 現代の企業、現代の市場 9 国民所得 10 通貨制度と金融政策 11 財政制度と財政政策 12 貿易と外国為替 13 社会総合 14 科目試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅲ 人文科学
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	演習
授業時間	24時間
授業コマ数	12コマ
授業概要	地理・歴史・倫理の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集・オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 日本史（中世、近世Ⅰ） 2 日本史（近世Ⅱ、近代Ⅰ） 3 日本史（近代Ⅱ、現代、通史） 4 地理（自然環境と地図） 5 地理（資源と産業、生活と地域） 6 地理（日本の地理） 7 地理（世界の地理） 8 世界史（東洋世界） 9 世界史（現代世界） 10 倫理（西洋思想） 11 倫理（東洋思想） 12 科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習 I
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	演習
授業時間	48時間
授業コマ数	24コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	実戦的なレベルの模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 1 2 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 2 3 警察官タイプの模擬試験 4 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 3 5 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 4 6 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 5 7 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 6 8 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 7 9 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 8 10 海上保安学校タイプの模擬試験 11 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 9 12 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 10 13 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 11 14 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 12 15 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 13 16 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 14 17 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 15 18 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 16 19 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 17 20 国家公務員タイプの模擬試験 21 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 18 22 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 19 23 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 20 24 地方公務員タイプの模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	第1回から第15回までは模擬試験の取り組み姿勢、第16回から第24回までは模擬試験成績にて評価
備考	基礎的なレベルの模擬試験として、一部過去問を含む場合がある

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習 I
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	演習
授業時間	108時間
授業コマ数	54コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<p>1・2 実戦的なタイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>3・4 実戦的なタイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>5・6 実戦的なタイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>7・8 実戦的なタイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>9・10 実戦的なタイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>11・12 実戦的なタイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説</p> <p>13・14 国家公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>15・16 実戦的なタイプの模擬試験 7 ・当該模擬試験の解説</p> <p>17・18 地方公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>19・20 地方公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>21・22 地方公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>23・24 地方公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>25・26 国家公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>27・28 国家公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>29・30 国家公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>31・32 国家公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>33・34 消防官（中級レベル）タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説</p> <p>35・36 消防官（初級レベル）タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説</p> <p>37・38 地方公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>39・40 実戦的なタイプの模擬試験 8 ・当該模擬試験の解説</p> <p>41・42 警察官タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>43・44 選択式（地方公務員 2 タイプ・裁判所）模擬試験 ・当該模擬試験の解説</p> <p>45・46 刑務官タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説</p> <p>47・48 実戦的なタイプの模擬試験 9 ・当該模擬試験の解説</p> <p>49・50 警察官タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>51・52 実戦的なタイプの模擬試験 10 ・当該模擬試験の解説</p> <p>53・54 地方公務員タイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説</p>
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員時事対策
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	国内問題・国際問題問わず幅広いジャンルの社会時事を学ぶ
授業の進め方	1項目15分程度で、重要な時事ワードを軸に内容を解説し、問題演習を行う
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 時事（政治分野1） 2 時事（政治分野2） 3 時事（政治分野3） 4 時事（経済分野1） 5 時事（経済分野2） 6 時事（文化1） 7 時事（文化2） 8 時事（文化3） 9 時事（科学1） 10 時事（科学2） 11 時事（科学3） 12 時事（科学4） 13 時事（科学5） 14 時事（国際問題1） 15 時事（国際問題2）
成績評価方法 （試験実施方法）	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	適性試験の解き方を学び、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習 1 2 適性試験練習 2 3 適性試験練習 3 4 適性試験練習 4 5 適性試験練習 5 6 適性試験練習 6 7 適性試験練習 7 8 適性試験練習 8 9 適性試験練習 9 10 適性試験練習 10 11 適性試験練習 11 12 適性試験練習 12 13 適性試験練習 13 14 適性試験練習 14 15 適性試験練習 15 16 適性試験練習 16 17 適性試験練習 17 18 適性試験練習 18 19 適性試験練習 19 20 適性試験練習 20
成績評価方法 (試験実施方法)	練習課題における得点で評価
備考	適性試験練習には一部模擬試験タイプを含む

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報IT学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	適性試験の解き方を学び、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習 1 2 適性試験練習 2 3 適性試験練習 3 4 適性試験練習 4 5 適性試験練習 5 6 適性試験練習 6 7 適性試験練習 7 8 適性試験練習 8 9 適性試験練習 9 10 適性試験練習 10 11 適性試験練習 11 12 適性試験練習 12 13 適性試験練習 13 14 適性試験練習 14 15 適性試験練習 15 16 適性試験練習 16 17 適性試験練習 17 18 適性試験練習 18 19 適性試験練習 19 20 適性試験練習 20
成績評価方法 (試験実施方法)	練習課題における得点で評価
備考	適性試験練習には一部模擬試験タイプを含む